

2020

7

Vol. 172

- タウン情報 -

きくがわ



夏は赤い花が多く、その代表としてサルズベリ(別名：百日紅と言ひ、花の寿命が長い)とカンナを選んだ。稲作は豊作の為に夏が大切であるが、日照り、日照不足、病虫害が大敵であり雨乞いや虫送りなどの神事が行われる。

【お知らせ】令和2年度敬老会は中止となります。

ご存じですか？

しゅうなん地域づくり応援サイト

<http://shunan-chiiki.joho.jp/council/kikugawa/>

タウン情報きくがわのバックナンバーは「しゅうなん地域づくり応援サイト」でご覧いただけます。

タウン情報きくがわで検索

■ 主な掲載内容

- 田中先生の健康ひとロメモ …P2
- 菊川深訪「山の日について」 …P3
- わが家のペット大集合 …P3
- 菊川日和 …P4
- 伝言板「茅の輪くぐり」 …P4

菊川日和

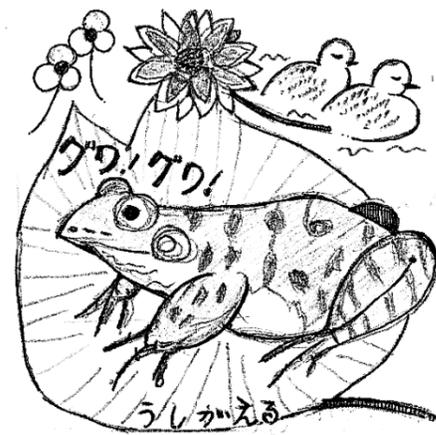
文・絵 大根姉妹
(ようこさん&としこさん)

朝八時半、いつもの定番スタイル日傘、帽子、かゆみ止め、お茶を持ちマスク美人のババ友と菊川公園を出発する。

長すぎた休みも、ようやく終わり学校も始まった。ねても覚めてもババ友とコロナの話を長電話したり自粛したりしてがまん、がまんの毎日だった。

新内谷橋から周囲を見渡せば雨を待っているあじさいロード、つばめと白サギが飛び交い田植えがすみ空を映す田んぼ、群生している薄紫の花しようぶ。

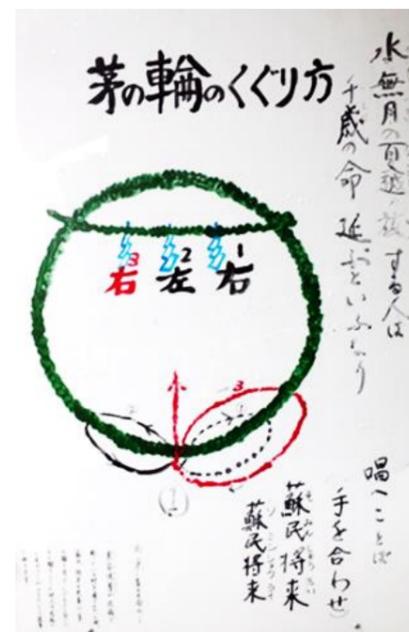
菊川の清き流れをのぞいていると餌を求めて一匹の大きな白い鯉がゆっくり泳いで来る。下流の方からも、つがいの鴨が近づいて来る。杉山の方に曲がり小川に沿って歩いていると突然「グワア、グワア、グワツ、グワツ」と鳴き声が。「何か



ね今のは「蛙よ、牛蛙よ。昔、食用蛙言いよったじゃ」「すごい低音じゃね」「フランク永井じゃね」「それいね」
公園の日陰で休憩しようやあと後もどりすると公園の近くの方に「もう少し奥へ行くと夜虫も出ているよ」と教えてもらう。
ベンチで離れて座り「マスクをしようたら暑い暑い」「熱中症に気を付けんにやあ」「よいつちやあマスク美人もつらいね」
今夜のババ友は鯨の干物を魚に長渕つよしさんのCDを聞きながら、のどごしを飲み干すだろう。私は血液サラサラを。
ヤレ、ヤレ、ヤレンノウ

ちわ 茅の輪くぐり (夏越の大祓い)

伝言板



数字で見る菊川
(6月末の人口等)

- 世帯 3,310 世帯
- 人口 7,908 人
- 男 3,840 人
- 女 4,068 人

体調管理が重要な時期ですので、上野八幡宮で毎年6月30日に行われている「茅の輪くぐり」を紹介いたします。拝殿の前に置かれた茅(ちがや)という草で編んだ直径約1.5メートルの輪をくぐり、心身を清めて災厄を祓い、無病息災を祈願するものです。

くぐり方は少し複雑ですが、茅の輪の横に書かれた説明版を読み、実施して下さい。また、くぐる時に手を合わせて、「蘇民将来(そみんしょうらい)」と唱えて下さい。

田中先生の 健康ひと口メモ



【新型コロナウイルス感染症について】

今回は下上にある「医療法人 田中医院」の田中琢磨院長にインタビューをしました。田中医院は1960年に開業し、50年以上菊川地区の医療を支え続けています。新型コロナウイルス感染症について、田中先生のご意見を伺いました。

「第2波についてはどのようにお考えですか？」

現段階では、北九州の感染拡大の状況によると思います。収束すれば秋までは大丈夫かと思いますが、季節が冬に近づくにつれて、じ

わじわと広がる可能性はあります。ワクチンの実用化が期待されるところです。

「気を付けることを教えてください」

まず、3密(密閉・密集・密接)を避けることですね。3密がダメだからと言って、2密がOKな訳ではありません。密が増えればリスクも増えますので、少しでも密を減らしていきましょう。それから手洗いが大切です。実は、外出先での濃厚接触よりも家族間の濃厚接触の方が、感染リスクが高いというデータがあります。体調が悪い時は無理をせずに、家庭内でも別々に食事を摂ったりマスクをしたりするなどして接触を控えましょう。あと、流行している地域へ行くことは控えて下さい。どうしても行かなければならない時は、行った後の自宅安静も検討していただけたらと思います。

「通院時に気を付けることはありますか？」

熱がある時は、電話をしてから通院して下さい。症状によっては車で待つてもらおうことがあります。徒歩や自転車の患者さんは、仮設テントで待機してもらおうこともあるのでご協力お願い致します。

「最後にメッセージがあればお願いします」

新型コロナウイルス感染症は無症状から重症まであり、見付けにくい病気です。PCR検査も、現段階においては十分ではありません。今は耐える時期です。みんなで乗り切りましょう。疑問があれば、遠慮なくお電話下さい。

「田中先生、どうもありがとうございました。」



医療法人 田中医院

〒746-0082
周南市下上2095-3
☎ 0834-624285



菊川 深訪

第41回 「山の日」について (四熊ヶ嶽)

「山の日」に因んで故郷の山として、四熊ヶ嶽を調べることにした。「防長百山」と「長門周防の伝説(松岡利夫編著)」を参考書に調べました。四熊岳(504m)は、「防長百山」には、冒頭「富田富士とも呼ばれる四熊ヶ嶽は、その呼び名の通り、聳立(しよりりつ)周りの物よりひときわ高くそびえたつこと)した均衡のよい山容を富田の町の真後に現わしている。この秀峰を、昔の人が見逃すはずはなく、山頂には四熊大権現社が建っており、その参道には、金明水、見所ヶ原、不動明王など、信仰と結びついた数々の地点や史跡がある」と記載されている。

「長門周防の伝説」には、さらに興味深い伝承が記載されている。四熊ヶ嶽は霊峰として、権現社が勧請され、金峰山(大向)の権現社と、大島太華山の権現様とネットワークがあり、大三角形で徳山を北、東、西の三面から守護しているとある。その為、四熊ヶ嶽と太華山の社殿は、向き合っているとされる。徳山毛利家の毛利元次が、動物園内に現

在ある「遥拝石」で、毎朝太華山に向かって、拝礼をしていたとの習慣も頷ける。

もう一つは、農事に関する事で、「伏(ふく)の日の権現参り」であり、夏の土用を中心に初伏・中伏・末伏には、稲が一節ずつ伸びると言われ、この日には、田に入ることを忌む習わしで、もし入って、稲葉で目を突くと失明すると信じられていた。そこで農家では、この日には必ず仕事を休み、四熊ヶ嶽の権現様へ清浄な砂を持って参詣し、川砂を社前に供え、代わりに下山にはお山の砂を頂いて帰る。その砂を田に撒くと、防虫(江戸時代の飢饉で、西日本ではウンカの大発生があった)や豊作になると言われた。その風習は、大正頃までは、東は岩国、西は小郡付近からも参詣者があり、麓の家々は参詣者の自転車で、ごった返したと伝えられている。

迷信と一笑するのではなく、昔も極暑の熱中症対策であり、農事の過重労働を防ぐ、知恵と思っ



徳山湾から眺めた四熊ヶ嶽



わが家のペット
大集合

● きなこちゃん(♂)



いろんなものをかじったり、駆けまわったりするのが大好きなわんぱく坊主。いびきをかいて、丸くなって寝ている姿がかわいいです。

● レイちゃん(オカメインコ)



ホーホケキョを覚えたよ！チョコボのテーマ、ピタゴラススイッチがお気に入り！

※ 掲載可能な写真がありましたら、一言コメントを添えて、広報部(菊川市民センター内)にまでご連絡ください。